



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井 俊巨
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail : sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



西濃地区家庭教育応援通信「みんな
で子育て」(令和5年度) - 岐阜県公
式ホームページ (西濃県事務所)

www.pref.gifu.lg.jp

「持続可能な家庭教育」のために

来年度の引継ぎに向けて

今ある活動を生かすことで保護者の学習機会の継続を！

日頃は、家庭教育学級の開催にご尽力いただきありがとうございます。

家庭教育は、教育基本法や岐阜県家庭教育支援条例にもありますように、子どもの健全な成長の基盤となる大切なものであり、父母等の保護者の自主的な判断に基づいて子どもに行われるものです。このため、保護者が孤立化してしまわないように学校、家庭、地域住民等が相互に連携して、協力しながら、家庭教育学級という貴重な学びの場を継続することが求められています。

子どもを育てる親が家庭で自分らしい子育てや家庭教育の在り方を見つけるためには、他の人との学び合いが有効です。しかも、そうした学びのつながりは、子どもが育っている同じ地域や同じ園・学校において、強いつながりとなります。そのため、子どもの健やかな成長のために、親としての学びや育ちを応援することは、各市町や地域、園や学校が協力して行っていくことが重要です。

西濃地区では、数年前から「持続可能な家庭教育」をテーマに取り組み、新型コロナウイルスがまん延していた時でも、園や学校職員の皆様、保護者の皆様の熱意と創意工夫により、家庭教育学級が実施されています。新型コロナウイルスが感染症法の5種に移行してからは、親子のふれあい活動や給食試食会、講演会など、会場開催の家庭教育学級が開催されています。

一方、岐阜県や各市町でも、親の学びや親子のふれあい場をつくり互いのコミュニケーションを深めたり、子どもの基本的な生活習慣や自立心を養うための様々な取組をしています。各市町の保健センターや子育て支援センターでは、食育や性教育などの教室や講座、イベントを開催しています。また、各地のNPO法人・各種団体は、こどもの居場所や学習場所を提供したり、こども食堂を行ったりしています。

こうした様々な取組の情報を園や学校の保護者の皆様に情報提供することは、「持続可能な家庭教育」の一助になります。また、そうした取組と連携することで、より多くの保護者に広げることができます。

各園・学校で授業や行事として行われている内容に、親も参加して学んだり、親子協力して活動したりする場を作ることも、「持続可能な家庭教育」と言えましょう。

今月、来月の通信は、そういった事例を紹介いたします。

ぜひ、参考にさせていただき、みんなで一緒になって「持続可能な家庭教育」に取り組んでいきましょう！



「持続可能な家庭教育」のために

県や市町の取組を利用した 家庭教育学級 「在宅取組型」

岐阜県では、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動や「あったかい言葉かけ県民運動」を行っています。前者の「約束運動」は、各園・学校主体で行っていただくことが多いのですが、揖斐川町では、青少年育成町民会議「家庭部会」が「わが家のあったか約束」として町内すべての小学校の保護者に案内文と実践カードを配付しています。また、小学校4年生の取組シートのメッセージ部分をしおりにして各家庭に返すこともしています。

海津市は、約束運動の代わりに、「あったかい絆宣言」の取組を行っています。「あったかいきずないっぱいカード」「ハグカード」「はみがきチャレンジカード」など幼児や小学校低学年が取り組むものから、情報モラルとしての取組カードなど、中学生までの年代に合わせた実践カードを作成し、園や学校に配付し、各家庭で取り組んでいただいています。

また、養老町では独自に「家族の絆・愛の詩」に長年取り組み、親子の絆を再確認することができる機会をもっています。

揖斐川町では、青少年町民会議「家庭部会」が「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の取組を進めています。

保護者会のない東江こども園では、海津市が実践カードを人数分印刷して園に渡し、園は保護者へその実施案内と実践カードを送付しています。毎年、8月の1週間を使って、乳幼児の年齢に合わせた在宅取組型の家庭教育学級を行っています。

小学4年生以外の学童用
「話そう！語ろう！わが家の約束」～わが家のあったか約束～

保護者の皆様へ

【お問い合わせ】揖斐川町青少年育成町民会議事務局
揖斐川町教育委員会 社会教育部
電話で連絡がつかない場合はご連絡ください。

記入例
「話そう！語ろう！わが家の約束」取組カード

小学4年生 保護者 年齢 1/2/3/4/5

わが家のあったか約束

親子・家族で大笑いして笑顔を広めよう。
・家族みんなで一つのテーブルに集まる
・家族みんなで笑顔、早起き・朝ご飯

【お楽しみ】 (○)守れた (△)守れなかった (×)守れなかった

月日	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
親子	○	△	○	○	○	○	○
子ども	○	○	○	○	○	○	○
家族	○	△	○	○	○	○	○

【お楽しみ】 (○)守れた (△)守れなかった (×)守れなかった

親子・家族で大笑いして笑顔を広めよう。
・家族みんなで一つのテーブルに集まる
・家族みんなで笑顔、早起き・朝ご飯

【お楽しみ】 (○)守れた (△)守れなかった (×)守れなかった

親子（家族）で読み聞かせ

とくむきかん 8がつ22に

あったかいきずないっぱい チャレンジカード

ハグカード

はみがき チャレンジカード

あったかいきずないっぱい カード

がんばるひにち 8がつ22にち～8がつ26にち
できたひは○にいろをぬりましょう。

あいつでできたよ！

おはなしでできたよ！

よるねるじかん

（○）まもれたよ！

やくぞくまもれたよ！

（おうちのひととやくぞくをさめましょう）
やくぞく ふんてくしよう

いかにぬれたかず
20こ未満 きすな
15以上 20未満 あったか賞
14以下 がんばる賞

毎日身長5cm 体重2kg以上増えたら
きすな賞をプレゼントしよう

賞状日：8月30日（金）

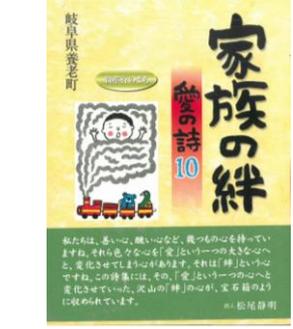
揖斐川町青少年育成町民会議作成「わが家のあったか約束」の4年生の子どもと保護者に向けての案内文。

小学4年生用
「話そう！語ろう！わが家の約束」～わが家のあったか約束～

保護者の皆様へ

【お問い合わせ】揖斐川町青少年育成町民会議事務局
揖斐川町教育委員会 社会教育部
電話で連絡がつかない場合はご連絡ください。

養老町では「家族の絆・愛の詩」を冊子にして取組の成果を広めています。



あったかい絆宣言

親子 学校 地域

カードの作り方

- 取組を5日間継続したら印刷しよう。
- お楽しみは「家族の絆」の取組シートに貼って使おう。
- 子どもも親子も一緒に読んで、褒めたり、声をかけたりして絆を深めよう。

海津市作成「あったかいきずないっぱいカード」の取組を薦める保護者向け案内文

「持続可能な家庭教育」のために

学校経営とともに取り組む 家庭教育学級 「在宅取組型」

揖斐川町立揖斐小学校 PTA子育てワークショップ
「いじめを見逃さない子どもを育てる」
 ーありのまま受け入れる声掛けの仕方ー
 10月31日(木) 10:30~11:40
 「講演会型」+「子育てサロン型」

【学校経営】
 SWPBSで実現する
「いきいき揖斐小 居心地のよい学校」づくり
 School-wide Positive Behavior Support
 (学校全体で取り組むポジティブな行動支援)

揖斐小学校では、学校全体で子どもの「望ましい行動」を見逃さず、ほめる、認める、価値づけることを行っています。PTA子育て委員会では、学校に協力して、「ほめほめWeek」を開催しています。今年度は、8月9日~16日、11月9日~16日の2回、子どもたちをほめ、「ほめた回数」「ほめた内容」をWebアンケートで収集し、保護者にお知らせしています。

SWPBSで実現する『いきいき揖斐小 居心地のよい学校』づくり

① 現在、学校で取り組んでいる生徒指導やいじめ未然防止教育について説明します。
 ② いじめに負けない、いじめを見逃さない子どもを育てるための声掛けの仕方、楽しくわかりたいと練習します。

月日：10月31日(木)
 時間：10:30~11:40
 ※ 授業参観後の実施です。
 場所：体育館1階
 持ち物：筆記用具、少しのやる気

第2回 PTA子育てワークショップ
いじめを見逃さない子どもを育てる
 ーありのままを受け入れる声掛けの仕方ー

こんな声掛けしてませんか？
 ・自分の部屋なんだから、自分で掃除しなさい。
 ・散らかってるもの全部捨てちゃうよ！
 その声掛け、よくないかも…

参加していただける保護者の方は、10月27日(日)までに、右のQRコードよりお申込みください。配布資料の準備をしたいので、できる限り事前に申し込みいただきたいですが、申し込みなしでの当日参加も大歓迎です。ぜひ、お誘いあわせの上お越しください。前回に引き続き、教頭七種が進行させていただきます。今回「ロールプレイ」はありませんが、わかり合いにお話ししながら楽しく進捗しようと思います。

揖斐小学校 PTA子育て委員会

配布資料
 第2回 子育て委員会ワークショップ R6.10.31
 いじめを見逃さない子どもを育てる ーありのままを受け入れる声掛けの仕方ー

1. 今日のポイント
 ・問題行動を減らす支援ではなく、望ましい行動を増やす支援をしていくことが大切。
 ・「助けて」と言える、傍観者にならずに誰かに伝えることができるのは、保護者や教師に「ありのままを受け止められている」と感じている子ども。

2. ありのままを受け入れる声掛けの仕方
フィードバック 自分の「解釈」を省き、**事実・行動のみ**を伝えて、子ども自身が「解釈」できる余地をつくる。問いかけも付け加えることによる。
 (例)「いつまでも、ごろごろしないで勉強しなさい」
 ⇒「帰ってから2時間もすぎだよ。宿題はどうする？」

メッセージ 声掛けの主題が「あなた」ばかりだと、「人からの評価」ばかりを気にして行動する子に、**主題が「私」のメッセージ**をうまく取り入れよう。
 (例)「うまくいったね」「もっとがんばれ」
 ⇒「うれいよ」「あなたを信じてる」

リクエスト 「理由+命令+脅し」を「理由+リクエスト+メッセージ」に。
 「リクエスト」は**要求、提案、依頼**。「ぜひ」「～してほしい」「～してみたら」。
 (例) 来年中学校なんだから、もっと勉強しなさい。高校いけなかつちゃうよ。
 ⇒来年中学校なんだから、本気でやってみたら？お父さん、応援するよ。

今回のワークショップは、授業参観の後にいき、テーマは、子育て委員会の意向で、いじめをとりあげました。いじめられているとき大人に援助を求めたり、いじめを知った時それを止めたり誰かに伝えたりする援助ができる子どもを育てるには、子どもをありのまま受け入れる声掛けが有効です。

今回の講師は、一番身近な校長先生と教頭先生です。参加した保護者は、ありのままを受け入れる声掛けの仕方を考えたり、感想を交流したりして、それぞれの家庭での声掛けの仕方を振り返りました。

強化の原理で「行動」を増やす

達成 → 行動 → よい結果

注意！メリットだからといって、それが「望ましい行動」だとばかりではダメ

「望ましい行動」のメリット
 ・認められる ・ご褒美
 ・嬉しかった ・できる ・おもしろい
 ・いい気分 ・注目 ・褒め言葉

「望ましい行動」のデメリット
 ・自分の得意 ・威がばれない
 ・嫌なコトやらすも ・むらねない



校長先生は、朝の「いきいきタイム」で全校児童に何回かに分けていじめについて話をしています。いじめの加害者・傍観者・被害者それぞれの心にどんなことが起こっているか、また、それぞれができることは何かなど、具体的な例を使って子どもたちに伝えていきます。その内容を保護者に紹介していただきました。

教頭先生は、これまでも、学校職員に対して、今回の内容と同じように、声掛けの仕方を指導してみえます。望ましい行動を増やすために、子どもの行動をありのまま受け入れ、上の配布資料にあるような、フィードバック+アイメッセージ+リクエストの3つを使った声掛けの仕方を教えてもらいました。



学校では、いじめについて、こんな詳しいことまでやってくれていてうれしいです。

前回もお話聞かされたので、今度は強くて話を聞かす方法を教えてください。

子どもたちの心の安定を、学校も家庭も同じように願っています。学校で取り組んでいることを、同じように家庭でも取り組むことで、子どもたちは身近な大人に「ありのままを受け止められている」と感じる格段が増えてきます。

「持続可能な家庭教育」のために

公民館と学校と連携した 家庭教育学級

「講演会型」+「子育てサロン型」

中学生が乳幼児学級のお手伝い

今回美濃市で行われた乳幼児学級は、公民館主事さんや主任児童委員さんが中心となり、公民館主催で初めて開催されました。夏祭りなどで中学生のボランティアをお願いしていた関係もあり、公民館主事さんが地元の中学校に働きかけ、託児ボランティアを募りました。

西濃地区家庭教育応援通信（No.3 令和6年6月3日発行）で紹介させていただいたように、岐阜県には、**命の大切さを学ぶために、妊婦さんや乳幼児と触れ合う体験を行っている中学校**があります。乳幼児と触れ合う体験を通して、中学生は自分の小さなことと重ね合わせ、「自分が世界でたった1人の大切な存在」であることを実感します。中学生は、乳幼児と触れ合うという貴重な体験をし、お母さん方は、お子さんから離れ、子育てについて学んだり、話したりする時間をもってリフレッシュしました。こうしたWin&Winの子育て支援は、現在進められている「**地域学校協働活動**」の**1つの在り方**を示しています。

美濃地区家庭教育の紹介 ～子育て講話&座談会～

美濃市 あひるさん・パンダちゃんの会 子育て講話&座談会

～あわてず、あせらず、楽しく子育て～

美濃市中有知地区の乳幼児学級「あひるさん・パンダちゃんの会」では、本年8月に「子育て講話&座談会」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

毎日子育てに追われ頑張ってみえる保護者の皆さんのために、子育てについて学んだり、日頃の悩みを気軽に相談したりできる場を提供したいという願いのもと、初めて開催しました。

地元の中学生 11 名が託児ボランティアとして参加し、会場準備から後片付け、講演会や座談会中の託児などを務めてくれました。

【講話&座談会の様子】



この会のマスコット「ケロタン」が登場して会が始まりました。子育て講話は、家庭教育専門職が行いました。



座談会では、それぞれの悩みなどが話され、みんなで対応策を考えました。和気あいあいとした賑やかな座談会になりました。



講演会や座談会の最中、美濃中学校の11人が、子どもたちと楽しく遊んでくれました。おかげで、保護者の皆さんは、安心して講演会や座談会に臨むことができました。

【参加者の感想】

- ・いつも子育てで頭がいっぱいの毎日を過ごしているので、今日は講話やおしゃべりに参加してとても安心できたし、気持ちをリフレッシュすることができました。
- ・地元の中学生の子たちが我が子と上手に遊んでくれて、うちの子も将来、あの子たちのような優しい人に成長してほしいなと思いました。

【取材を終えて】

「楽しくて有意義な2時間でした！」という感想が、保護者の皆さんからはもちろん、中学生の感想からもあがりました。短い時間でしたが乳幼児から解放された保護者と、乳幼児に癒やされた中学生、両者ともに爽やかな笑顔が印象的な会となりました。

中濃地区家庭教育学級長さん応援つうしん「かてきょー」より

小さな子のお世話に慣れていない中学生は、最初の十分間ぐらい、お母さんと一緒によい子どもたちと遊びます。

そのあと、お母さん方は子どもたちと離れ、となりの部屋で行われる乳幼児学級に参加しました。

よちよち歩きの小さい子たちを見ると
人間の子どもでも
イヌの子でも
ヤギのこどもでも
どうしてこんなに
かわいいのか
童話「ぞうさん」で有名なまど・みちおさんの「人間の目」という詩の冒頭です。
わたしたち人間が生まれたての命を愛おしく思うのはどうしてでしょう。一度読んでみてくださいね。

